

# 2024.12 フォーラム便り vol.5

「男女共同参画推進せんだいフォーラム」(11月15日～17日開催)では、**40**グループが**35**企画を実施し、オンラインも含めた参加者は延べ**1,103**名でした。

## 多様な切り口で発信した3日間

各企画のテーマは、**防災・働く女性・環境・育児・不登校・性暴力**など多岐にわたりました。

参加者からは「この場に来たからこそいろんな課題があることを知った」「ディスカッションで考えを深めることができた」「これからもジェンダー視点で考えていきたい」などの声が寄せられ、多くの人にジェンダー問題を考えてもらえる機会となりました。



## 次につながる手応え・気づき



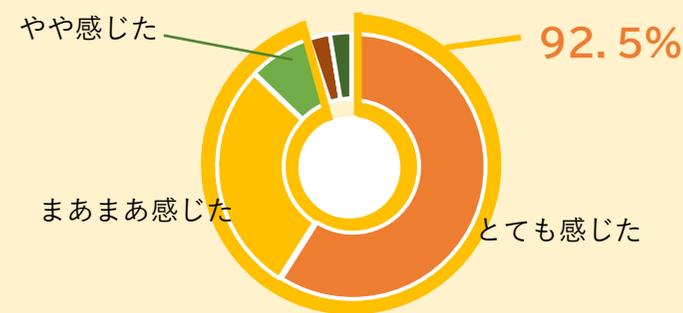
企画を実施したグループ同士で、11月29日に振り返りを行いました。振り返りでは、フォーラムでチャレンジしたことや手応えを共有しました。お互いの取り組みに関心を寄せる中で共通点を見つけたり、他のグループの話から自分たちの活動のヒントを得たり。これからの活動を後押しする時間にもなりました。

### 【振り返りでの発言より】

- 今年はテーマを絞って参加者を募集した。考え抜いた良いテーマであれば人が集まることがわかった
- イベントを通して支援ネットワークを必要としている人たちに情報を届けることができた
- 困っている人を支える側にもジェンダー視点が広がるといいと思い、使命感を持って企画した
- 普段なかなか接点がない若者たちをゲストに招き話合った。若者たちの活動を知る機会にもなった

- 子ども食堂の現状を知ってもらいたくて企画した。関心を持って質問してくれる人が多くうれしかった
- 活動の輪を広げたくて初めて企画参加した。他のグループと交流し、新しい発見や学びがあった
- 当日のレイアウトや雰囲気づくり、話し合いのテーマを工夫し、実りある話し合いにつながった

## 92.5%が「手応えを感じた」と回答



(グループへのアンケートより)

振り返り ▶



◀ フォーラム3日間の様子

ワークショップやシンポジウム、ブース展示、手仕事マーケットなど

# 市民団体交流会 ~2024 秋 11/15 開催

エル・パーク仙台、エル・ソーラ仙台を拠点に活動する市民グループの交流会を、フォーラム期間中に開催しました。

テーマは、春の交流会に続き「**2030年の仙台をどんなまちにしたいか**」。「男女平等のまち・仙台」の実現に向けてやってみようと思っていることや、大事にしたいことを語り合う中で、活動の原点に触れる場面もありました。

最後にそれぞれが大事にしたい思いをカード（下記）に書いて共有。力強い発言に、あきらめずに行動し続けようという前向きな空気に会場全体が包まれました。今後もジェンダー平等の実現に向けて、一人ひとりの思いを聞き合い、エネルギーチャージできるセンターであり続けます。



「まちに出るとポイントが付与され、そのポイントが誰かのために還元されるといい」という面白いアイデアが！

時にグループのメンバーと意見が対立することや、担い手不足・困難な壁にぶつかることもあるという悩みも。



「自分が活動することで少しずつでも周りに広げていきたい」「壁を壊していきたい」という発言に周りの人も大きく頷いていました。

活動分野が違う人と話すことは刺激的だった

ジェンダー意識を持っている人同士、前向きな議論ができた

それぞれの思いを知ることができた

どんな属性でも、明日が来ることを楽しみであるような社会。街であるべき。そんな場所をしよう。

たまるな!! (良いこと悪いこと)

選挙大事です 女性議員をふやそう 政策のいいと見る目を養い選びましょう!

子どもも、大人も一人ひとりが大事にされ、人権が守られる社会に!!

若い人たちが、まちに定住し、暮らし、働けるまちにしたい

助けてくれる仙台。仙台の町、楽しんで、声出して、町に出よう! ポイントもいっかある

時を待たない自分からアクションを起こす。ジェンダー問題

来女は!! 家事も定年綱も定年して手解す

思い、心、勇気を持ってやってみよう



▲エル・パーク仙台 5階エントランスにカードを展示しました

# 先達に聞く 2024 11/15 開催

エル・パーク仙台などを拠点に市民活動を長年続けてきた女性たちが、次世代につなぎたい思いを語る企画の第8弾を開催。4名の語り手のお話から一部を紹介します。

「会長の打診に対して『やったことないからできません』と言ったら『やったことないからやるんでしょ! 同じ仕事やったってつままないじゃない!』と。結果的にやって良かった」

大学女性協会  
澁谷 由美子さん



「指導員を依頼されたとき、結婚した女性も働く社会になるから**学童保育の指導員は大事な仕事**だと言われたので、**実力がなかったけれど大事ならやってみよう**と引き受けました」

仙台市学童保育連絡協議会  
藤村 優子さん



「東日本大震災後、何かしたいとボランティアセンターに行き、その後も周りとの関わり合いでいろんな活動をしてきました。**笑顔や感謝の言葉に出会って私自身が救われたような気がします**」

仙台市沿岸 編み会・縫い会  
熊谷 豊子さん



「時には自分の考えの足りなさに落ち込むこともありましたが、**さまざまな人との出会いによって今の自分があります**。今度は私がもらったものを周りの人たちに伝えていけたら」

青葉区母親大会連絡会  
早坂 美恵子さん

